

七、稲葉正通書状

解説

稲葉正通が父の正則（泰応）に出した書状。正通は貞享二年（一六八六）末、越後高田に転封されており、本文書に「高田発足」とあることから、貞享三年以降のものと推測される。なお本文書は「稲葉一鉄様より岡部左衛門二被下候、御自筆之御書」という包紙に入っているが、これは後世の誤り。